

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	3	0	0	7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	3	2	0	7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	4	1	0	7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	3	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス開始前に利用者と家族の思いを理解するため、本人と家族、管理者とケアマネジャーの間で話し合いの場を設けている。その後、話し合いの結果を職員に伝え、カンファレンスを実施し、利用者にとって必要な支援をアセスメントから掘り起こし実践に繋げている。 また、本人が無理せず利用できるように短時間の利用から開始して、本人のペースで穏やかに過ごせるよう配慮している。 家族には利用時の様子を詳細に伝え、信頼関係の構築に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
小規模多機能型居宅介護は、通所・訪問・宿泊の複合的な事業であるため、それに伴い職員の勤務も交代勤務になることから、記録や口頭での情報が先行してしまう場合があり、十分なカンファレンスができない状況のまま、利用者が必要とする支援の見極めができていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人と家族が抱えている問題について、職員間で課題や支援内容を検討し、情報を共有する必要があるため、定期的なカンファレンスを実施する。 初期の段階で集中的にミーティングを行い、本人と家族の意向や情報を職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	2	3	0	7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	2	2	0	7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	2	2	0	7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	3	0	0	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
毎月の定例会議で個別の会議を行っており、目標やケアプランを把握し、それに沿った支援ができているか確認する。日常の中で利用者の変化に着目し、その経過の中から目標を定め、目標実現に基づいた支援が行われている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
利用者の目標に目指した支援を行うように取り組んでいるが、職員の個々の関わり方や経験等で、利用者との信頼関係が上手く構築できないケースがある。また、職員の中には利用者の変化に気付くことができない場合もあり、実践の中で利用者に関わる目標を見出せないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
何が障害になっているのかを職員全体で話し合い、個々の利用者やその時々状況を十分に考慮しながら、できる限り利用者の思いを実現できるように支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	4	3	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	3	0	0	7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	4	0	0	7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	3	2	0	7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	4	1	0	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人の今までの暮らし方や自宅での日常生活の在り方を家族と本人から聴取し、それを職員に伝えて本人に適した基本的な介護(入浴・食事・排泄)を行い自立に向けた支援を提供している。 また、日々の個別の情報は経過支援に記録し、課題(身体・言動・表情・行動)に対しては、その日のミーティングの中で共有しながら利用者の変化に対応している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>日々の関わりの中で、想定外の事態が起こり、その人らしい個別のケアができない状況の時がある。 また、アセスメントの変化に気付かず、職員間で情報の共有ができてない事柄がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ミーティングの中で、職員全体でアセスメントの再確認を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	4	0	7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	4	0	7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	0	3	4	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	5	0	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者には地域の行事等にできる限り参加してもらっている。また、地域の文化祭には、利用者が作成した作品を必ず出展し会場への見学も参加するようにしてもらい、地域住民との交流の機会を設けている。事業所で催し物がある時は、地域の方に呼びかけ、チラシを配布する等して参加を募っている。また、利用時の出来事は連絡ノートで家族に伝えており、家族からも様々な意見や情報の提供がある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域の行事には十分に参加できておらず、事業所でサロン等の季節毎の行事を行い、家族や地域住民との関係を深めていく計画を立てているが、事業所運営に関わる諸事情から現実には難しい状況である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
行事だけではなく、施設周辺の散歩等を通じて、利用者と職員と一緒に地域へ出向く機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	5	0	7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	7	0	0	7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	2	5	0	7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	4	3	0	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 予定外の通所・訪問・宿泊の依頼に対応し、サービス時間の延長や食事等の追加を適時行っている。また、通院時の送迎等にも柔軟に対応しており、できる限り利用者個々のニーズに対応できるように支援している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 地域との連携がとれていないため、地域のことが把握できておらず、社会資源を活用できていない。柔軟には対応しているが、家族の意向もあるため、必ずしも本人の意向に添えているとは言えない事柄もある。変化への気づきはできているが、適切に対応できていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
 地域にどのような社会資源があるのかを精査し、本人や家族と話し合いながら、社会資源の有効利用を実施できるようにする。  
 変化への気づきは職員間で共有し記録に残す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	1	5	1	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	1	5	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	5	2	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	7	0	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
本人の身体に関することについては、家族の意向や事業所での状態を観察しながら、医療機関と密に連携を取っており、状況により受診の付き添いにも対応している。  
福祉用具や訪問看護等のサービスを利用する場合は、自宅での介護場面で家族が援助しやすく、本人にとって安全で安心できるように担当者会議の場を設けて、本人と家族や関係者間で意見交換を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
立地条件もあり、事業所の存在が地域に浸透していない。年に数回ある行事についてもチラシを配布して参加を呼びかけているが、地域住民の参加は少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
事業所からの情報発信や地域住民との交流を図るため、サロン等の実施を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

7. 運営

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	7	0	0	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	2	0	7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	0	7	0	7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	7	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事故や苦情等の対応については、職員間で十分に話し合っ、適切に対応している。 運営推進会議の中で出た様々な意見をできる限り取り入れて、施設運営に反映している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 苦情や意見箱は設置されているが地域に反映されておらず、地域に対しては未だに小規模多機能型介護事業の認知度が低い。 地域との連携は十分にできておらず、計画性や具体化が乏しい。 職員が交代で運営推進会議に参加することができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員全員が運営推進会議に参加できるように勤務調整を行い、職員一人ひとりが施設運営の意識が持てるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	3	4	0	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	5	0	7
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	5	1	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	0	7	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>定期的な法人の研修や社外の研修、小規模多機能部会の研修、認知症実践研修等、職員の質の向上について必要な研修は取得できている。</p> <p>行政が実施している事例検討会議に出席して、職員のスキルアップに繋げている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員の異動が多いため、経験に見合った研修が受けられていない職員がいる。</p> <p>リスクマネジメント会議毎に問題提示しているが、なかなか検討課題にあがってこない。</p> <p>日常業務の中でリスクに繋がる気付きから改善に反映することが少なく、ヒヤリハット報告書や事故報告書も職員から提出されることが少ない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>研修については、勤務等の諸事情から参加が困難な場合が多いため、組織全体の見直しが必要である。</p> <p>ヒヤリハット・事故報告書については、職員の認識が薄く見過ごすことが多いため、普段の関わりからどのような場面での様なリスクの可能性があるのか、職員全体で意見交換を行い改善に繋げる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 3 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 前田 山根 中村 辻 古味 田付 藤田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	0	0	0	7
②	虐待は行われていない	7	0	0	0	7
③	プライバシーが守られている	2	5	0	0	7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	7	0	0	7
⑤	適正な個人情報の管理ができています	0	4	3	0	7

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 身体拘束や虐待は行っていない。例え家族からの意向でも拘束や虐待等の可能性がある場合は、事業所内では行わない方針である。  
 利用者及び家族のプライバシーの保護については、職員全体で周知徹底している。  
 個人情報や重要書類等のファイル関連の扱いについては、特定の書庫に保管している。  
 研修等で学習する機会を持ち、ミーティングの中でも職員が気付いたことは話し合っている。

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 説明を受けた職員の異動等があり、現在は理解できていない職員がいる。  
 入浴介助やトイレ介助については、職員の性別が偏っているため、同性介助の必要の有無が曖昧になっている。日常の関わりで、無意識なうちに人権やプライバシーを侵害していることがある。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
 ミーティングの中で、日々の関わりを職員全員で話し合い振り返を行う。  
 人権・プライバシーの保護に関連する研修を実施する。